

地震速報の誤報、なぜか日本擁護のコメントが殺到！ —中国版ツイッター—

2013年8月9日
Record China
13時30分配信

2013年8月8日午後4時56分、気象庁は緊急地震速報を発表した。
奈良県と大阪府で最大震度6弱から7程度の揺れが起きると予測したためだが、その後、地震は一向に起きず、誤報と判明。
直前に起きた微弱な揺れと、地震計の信号トラブルが重なったことが誤報の原因とみられている。

気象庁の橋田俊彦地震火山部長は記者会見で
「交通機関や多くの人に大変な迷惑をかけ、おわび申し上げます」と謝罪するに至った。



緊急地震速報の誤報で会見、
冒頭に謝罪した気象庁の橋田俊彦地震火山部長ら
＝8日午後、東京都千代田区(産経ニュース 鈴木健児撮影)

国内で多くの人が強い不安に襲われ、同時に、これほど大きく予測がはずれたことに驚いたと思われるが、このニュースは隣国の中国をも驚かせたようだ。
反日感情が根強いイメージのある中国だが、日本の技術や秩序などに対する信頼感は一般に非常に高い。「あの日本でまさかこんなミスが」という衝撃は中国版ツイッターと呼ばれる簡易投稿サイトにも走り、誤報を認めて謝罪した気象庁の姿勢に擁護のコメントが殺到するという意外な事態に発展している。以下は寄せられた意見の一部。

- 「地震が予測できるっただけで、すでにスゴイと思うのですが」
- 「地震の予報なんて到底できない中国よりはましですよ」
- 「中国はこういう誤報を出す可能性が高いから予報そのものをしないだけだよ」
- 「たとえ誤報だって、少なくとも死人を出さないことに貢献できるよね？そもそも予報をしなければ死人を出すリスクは増すよね」
- 「日本を見習おう。失敗は成功の母と言うじゃない？いつかきっと、成功する日が来るよ」
- 「来る日も来る日も日本を罵倒するばかりの中国。確かに日本は憎いかもしれない。だけど、やっぱり長所も多い国だと思う。偉い」
- 「日本は好きじゃないけどさ、どっかの国(=中国)よりはずっとましだって認めざるを得ないよ」
- 「中国の官僚や政治家も“謝罪する”ってことを早く学んでくださいね」
- 「官僚が頭を垂れて国民の尊敬を得る。日本人ってホントすごいよな」(翻訳・編集/愛玉)

すぐ謝る日本人、絶対に謝らない中国人
日本は謝罪を尊敬する文化